

はじめに 5

第1章 その教え方はなぜ「分かりにくい」のか 15

1-1 ダメな教え方がいっぱい！ 20

情熱がない教え方21／力みすぎる教え方22／押しつける教え方23／褒めない教え方24／
双方向であることを忘れてる教え方25／詰め込みすぎる教え方27

1-2 ダメな教え方をするのは誰か 28

一流プレイヤーだった先生29／生徒を見下す先生30／失敗から学ぶことができない先生
31／生徒の「文化」を受け入れられない先生32

第2章 「教える」とはどついつつとか 35

2-1 「説明する」と「教える」 36

「スタディ」と「ラーン」の違い36／「分かる」と「身につく」の違い37／脳に「けも
の道」を刻み込む38／「けもの道」を刻むためのプラスα39

2-2 「教える」の五つのポイント 41

「教える」とはサービズすること43／「教える」とは説明すること45／「教える」とは
観察すること47／「教える」とは分解すること49／「教える」とは誘導すること51

第3章 「分かりやすく教える」五つの心構え 53

教える心構え1 先生役を気楽に引き受けよ 55

生徒とともに学べ55／自分の性格の未熟さは気にするな57／生徒に対する期待値を下げ

よ59／生徒の長所を三つみつけよ61／教える前に友だちになれ62／情熱を持って64

教える心構え2 生徒をお客様と思え 67

「お客様扱い」とは何か67／必要ならプライドを捨てよ69／「ダメ生徒」との出会いをチャンスにせよ70／苦情は「改善のヒント」と思え71／叱っても怒るな72

教える心構え3 生徒の「文化」を尊重せよ 74

生徒を「外国人」と思え74／生徒の「文化」に気づけ75／生徒の「文化」に反発する前に考えよ77／生徒の欲しがるアメを知れ78

教える心構え4 生徒を「可能性のタネ」と見よ 81

生徒を「大輪の花のタネ」と思え81／生徒から学べ82／生徒自身にルートをみつけさせよ84

教える心構え5 生徒を楽しませよ 89

「勉強＝辛い」という公式は捨てよ89／「楽しさ」で生徒の自主性のスイッチを入れよ91
／生徒が「楽しんでいる」状態にせよ92

第4章 「分かりやすく教える」八つの技術 95

教える技術1 生徒のレベルに合わせよ 97

生徒のレベルやタイプ別に分けよ97／生徒のタイプに合わせて教えよ99／生徒の反応から「生徒の視点」に気づけ101／「打診」で視点のズレをチェックせよ103／「伝わっているか」を常に確認せよ104／大多数の生徒の反応を注視せよ105

教える技術2 「目標」を明示せよ 107

理解のゴールを最初に与えよ107／「大きなルール」に気づかせよ111／具体的な見通しを示せ114

教える技術3 「魔の挫折地帯」を認識させよ 118

「見晴らしは急に開ける」と教えよ118／見通しを示して挫折を防げ120／「スランプはチャンス」と教えよ122／学ぶことのメリットを示せ123

教える技術4 目標を分解せよ 125

急斜面には階段を刻め125／分解で「不可能」を「可能」に変えよ127／分解でコツを体感させよ128／部分目標ごとにアドバイスせよ129／「できるレベル」にまで分解を繰り返せ130／分解した部分目標を最後に組み立てよ131／分解で具体的な課題に絞り込め132

教える技術5 「腹八分目」を守れ 136

消化不良を起こさせるな136／内容を絞り込め137／「もつと食べたい」状態で終えよ138／重要項目は強調して示せ140／メリハリでトークにも見出しを付けよ141

教える技術6 褒めて伸ばせ 144

褒め言葉が学ぶ意欲を生む144／小さな進歩を見逃すな145／間髪を入れずに褒めよ146／「褒め言葉」で誘導せよ147／人格否定ではなく改善点を指摘せよ148／「叱る」と「褒める」でワンセットにせよ150／「褒め貯金」をせよ154

教える技術7 「反復」と「映像化」で脳に刻み込め 156

柔らかい地面にしつかり刻み込め156／体得するまで繰り返しさせよ157／「繰り返し」の臨界点をみつつけよ159／一カ月以内に復習させよ161／「まとめ」でダメ押しせよ163／比喩で映像化せよ164／記憶定着にはムチよりアメを使え167

教える技術8 「与える」よりも「引き出せ」 168

予備校講師の教え168／生徒の未理解点を浮かび上がらせる170／ときにはわざと「分りにくく」せよ172／「思考回路のスイッチ」を入れよ174／生徒自身に説明させよ176／気づき、気づかせよ177